

# トライアングル

IWATE NOKEN CENTER NEWS

1997.5.

VOL.1

編集発行

岩手県農業研究センター

所長 田中 義一

〒024 北上市成田20-1  
TEL0197 (68) 4402~44032

## トライアングル発行に当たって

岩手県農業研究センター所長 田中 義一



農業は、世界規模の大競争時代を迎え、自然の力と英知が融和した"新しいわて農業"による持続的な展開によって本県農業の生き残りを図るため、岩手県農業研究センターが誕生いたしました。

トライアングルには、3つの力の連携（従来の試験研究機関が新たに連携する意味や、研究者、農政担当者、生産者の連携の意味など）のほか、「トライ やってみる、試みる」や、「アングル（新しい）視点、見地、支える」などの意味合いもごさいます。

当誌は、このタイトルの様に日々様々な視点から試験研究を試みる当センターの姿を広く紹介するために毎月発行する事と致しました。

新たな時代を拓く試験研究の内容や、センターの動向を分かりやすくお伝えしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 第1回全体会議開催

平成9年4月8日、岩手県農業研究センター発足に際し、農政部長が来所し、センター職員に対し、生産者重視の研究や実績測定的重要性を説いた訓示を行った。

また、これに先立ち、第1回の全体会議を開催しセンターの運営について協議を行ったほか、所長から次のような所信表明が行われた。

### 岩手県農業研究センター始動に当たって（研究所長所信要旨）

#### 〈研究課題の位置づけの確認〉

現在の県農政は、「第3次"新しいわて農業"確立計画」の後期推進計画を基本としており、研究者も農政推進の一員として自分の研究がこの計画のどこに位置付けられているのか、確認しながら研究を進めてもらいたい。

#### 〈独自技術の開発〉

今後における本県農業研究の使命は、我が国の食料供給基地として国民に良質で安全な食料を安定的に、しかも低廉な価格で供給する事である。

研究センターの役割は、これを実現するために生産者に革新技術や新しい経営方式などを供給し、豊かな農村を築く一翼になうことである。

今までは、他のアイデアをベースに改善・改良することで、県農業の発展に寄与するというケースが多かったが、国際的な大競争時代に入っているこれからは、県農業発展の原動力は、自らオリジナルな概念を生み出す、ブレークスルー型のイノベーションが重要である。

従って、今後における研究は、限界を打ち破る独自技術の開発に大きなポイントがあると自覚しなければならない。

#### 〈個人の能力を重視〉

従来、研究員の扱いは、組織まるがかえの平等主義が主流であったが、新研究センターでは個人を全面に出した能力主義に変える必要がある。

新たなコンセプトやイノベーションを生み出すためには、個人が自分の能力の限界に挑戦するというエネルギーの爆発が必要であり、平

等主義の中からはこの爆発は生まれない。

能力ある人材に対しては、しかるべき評価が与えられるような職場環境にする必要がある。

その意味合いからも、若い研究員の芽を見つけたし、育てる必要がある。

#### 〈企画部門の活用〉

構造変革が求められる時には、オペレーション主体の現場主義だけでは限界がある。

研究全体との総合性と効率を高めるため、新たに研究の企画調整部門が設けられた。

個々の能力を最大限に発揮できるようにするため、研究員全員が企画部門を有効に機能させるよう意識的に活用することが必要である。

#### 〈組織の枠から羽ばたく研究風土を〉

以上のような状況を踏まえ、これからの研究センターを、個人が組織の硬直的な職階性を越えて自由に羽ばたき、自己の潜在能力を思う存分発揮できるような研究風土を持った組織にしていきたいと考えている。



センター発足に当たっての農政部長との合同写真

## 第2回全体会議開催される

平成9年4月23日新体制発足にあたって、農業研究センターの総ての研究室長が平成9年度重要研究課題について説明を行った。

また、飛躍的な成果が期待される、高生産性農業新技術開発促進研究について協議を行った。

### 農作業機械お披露目

平成9年4月25日、新しい試験は場で活躍する数々の最新の農作業機械のお披露目が行われ、大区画ほ場での低コスト水稻技術の開発等に期待が膨らんだ（右写真）。



# 5月行事予定

## 農業研究センター

- 1 牛の科学館打ち合わせ 畜産研究所 13:30 畜産研究所
- 2 生物工学研究所中核研究員専攻委員会  
エスポワールいわて 10:00 センター所長
- 4 日本家禽会第22回共進会 畜産研究所 8:00 畜産研究所
- 7 プロジェクト研究推進チーム打合せ会  
畜産研究所 13:00 企画経営情報部/畜産研究所  
二戸地方農林行政連絡会議（～8日）  
二戸市金田一 14:00 県北農業研究所  
園芸・畑作振興担当者会議（～8日）  
盛岡市つなぎ 13:00 畑作園芸部/県北農業研究所
- 8 加工工房圧力検査（人事委員会）  
加工工房 14:00 生産環境部
- 9 日本短角種雄牛貸付調整会議  
畜産研究所 10:00 畜産研究所  
園芸畑作部打合せ 中会議室 16:00 園芸畑作部
- 12 運営会議 応接室 9:00  
知事田植え 江刺市 農産部
- 13 日本哺乳類卵子学会（～14日） 県民会館 畜産研究所
- 19 運営会議 応接室 9:00
- 26 企画運営会議 応接室 9:00
- 29 普及センター経営担当者会議（～30日）  
農業大学校 13:30 企画経営情報部
- 下旬 農産物加工指導センター運営委員会  
農業研究センター 生産環境部

## 病害虫防除所

- 2 連絡会議 16:30～
- 6 ササニシキBL試験設計検討会 13:30 県公会堂12号会議室
- 7 園芸・畑作振興担当者会議（～8日） 13:00 繁「愛真館」  
二戸地方農林行連会議（～8日）  
14:00 金田一「おほない旅館」
- 8 全国農林航空事業実施協議会 10:30 農水省
- 9 連絡会議 16:30～
- 13 北上地方行事務政連絡会議 12:00～ 農研センター
- 14 所植防推進会議（～15日） 13:00～ 県北農業研究所  
所内研修
- 16 防除員協議会役員会 県北研究所  
連絡会議 16:30～
- 19 農政部新採用職員研修（～20日） 清温荘
- 20 係長研修（～23日） 清温荘
- 23 連絡会議 16:30～
- 26 農業気象協議会・13:30～ 競馬会館
- 27 情報作成会議  
胆沢町病害虫防除協議会総会 15:00 水沢市「新若松」
- 28 予察会議
- 29 発生予察情報発行
- 30 気象連絡会  
連絡会議 16:30～

## IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 5/19 有機物の利用①  
農業研究センター生産環境部 多田勝郎
- 5/20 有機物の利用②  
農業研究センター生産環境部 多田勝郎
- 5/21 野菜の施肥管理①  
農業研究センター生産環境部 佐藤 喬
- 5/22 野菜の施肥管理②  
農業研究センター生産環境部 佐藤 喬
- 5/26 農業研究センター生産工学研究の紹介①  
農業研究センター 鶴田正明
- 5/27 農業研究センター生産工学研究の紹介②  
農業研究センター 鶴田正明
- 5/28 農業研究センター生産工学研究の紹介③  
農業研究センター 鶴田正明
- 5/29 農業研究センター生産工学研究の紹介④  
農業研究センター 鶴田正明
- 6/2～3 水稻の直播きについての研究紹介  
農業研究センター 村上和史
- 6/4～5 畜産研究所の紹介  
農業研究センター 杉若輝夫
- 6/11 野菜の鮮度保持  
～12 農業研究センター 佐藤博美

## 「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 5/9 水稻移植と初期管理  
農産部 高橋政夫
- 5/16 りんご摘果の省力的方法  
園芸畑作部 小原 繁
- 5/23 水稻いもち病対策  
生産環境部 富永朋之
- 5/30 農業研究センターにおける「農業経営研究」の紹介  
企画経営情報部 田中裕一
- 6/6 日本短角種の産肉能力検定について  
畜産研究所 西田 清
- 6/13 大区画圃場での稲作栽培について  
農産部 伊藤勝浩
- 6/20 麦の収穫・乾燥のポイントについて  
園芸畑作部 高橋昭喜
- 6/27 新しいランドレース種豚について  
畜産研究所 藤原哲雄
- 7/4 農薬の安全な使用法  
生産環境部 築地邦晃
- 7/11 水稻の水管理と追肥  
農産部 一守貴志
- 7/25 ユリのプレルーティング技術とボックス栽培  
園芸畑作部 阿部 潤

## 主な来所者

- |                     |       |      |
|---------------------|-------|------|
| 4/15 岩手県農産物改良種苗センター | 松田 俊一 | ほか1名 |
| 4/21 軽米町助役          | 山崎 七郎 | ほか3名 |
| 4/24 福島県農業経営指導課     | 車田 次男 | ほか2名 |
| 4/25 沖縄県農林水産部       | 具志堅強志 | ほか3名 |
| 4/25 軽米町農業協同組合      | 浅水 喜一 | ほか5名 |
| 5/13 岩手県経済連         | 千葉 明  | ほか2名 |
| 5/13 鹿児島県庁          | 西野 博  | ほか3名 |



農業研究センター正面